

科目	歴史総合	単位数	2単位	学年	第1学年	講座	
教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)		副教材等	新詳 明解	歴祖総合(浜島書店) 歴史総合ノート(帝国書院)		

学習目標	1 日本の歴史の展開を世界史的視野にたつて総合的に理解する。 2 現代社会の諸課題が形成された歴史的背景について理解を深め、歴史的な見方・考え方を踏まえて多面的・多角的な考察をする力を身に付ける。
------	---

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	歴史上の出来事の背景や過程、特色などを理解し、その知識を身に付けている。	物事を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。発問に対して自分なりに考えを導き出す。	歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする。授業や課題に真剣に取り組んでいる。

時期	学習計画及び内容		評価方法	
1学期	4月	各地域の諸文明	授業態度 学習課題集提出 定期考査 ノート提出 小テスト 発表・報告	
	5月	1 東アジアの文明		・中国文明、秦～明、ユーラシアの交易路
		2 南・東南アジアの文明		・インダス文明、仏教とヒンドゥー教とイスラーム
		3 西アジア・北アフリカの文明		・西アジアの古代文明、3つの宗教、イスラーム文明、
		4 ヨーロッパの文明		・古代地中海文明とローマ帝国、キリスト教の成立
6月	5 南北アメリカの文明	・古代アメリカ文明、ヨーロッパ人の植民地化		
	2部 近代化と私たち			
7月	1章 江戸時代の日本と結びつく世界	・江戸幕府の成立、江戸幕府と外国との関わり	定期考査 ノート提出 学習課題集提出	
	2章 欧米諸国の近代化	・アメリカ独立戦争とフランス革命、産業革命と資本主義の成立		
2学期	8月	(夏休み課題)	授業態度 学習課題集提出 小テスト 定期考査 ノート提出 発表・報告	
	9月	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		・1学期に学習した内容を復習する。 ・西欧による植民地化、アヘン戦争、江戸幕府の開国と滅亡
		5章 近代化が進む日本と東アジア		・明治維新、日清戦争と日露戦争
	10月	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち		・大戦前の国際情勢、第一次世界大戦の推移と日本の参戦 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の成立、戦後復興と社会の変化 ・世界恐慌とファシズムの台頭、第二次世界大戦の勃発、太平洋戦争の開始と敗戦
		1章 第一次世界大戦と日本の対応		
		2章 国際協調と大衆社会の広がり		
11月	2章 国際協調と大衆社会の広がり			
12月	3章 日本の行方と第二次世界大戦			
3学期	1月	(冬休み課題)	授業態度 学習課題集提出 定期考査 ノート提出 小テスト 発表・報告 学習課題集提出	
	2月	4章 再出発する世界と日本		・戦後の国際秩序形成、冷戦の始まり、日本の占領統治と独立回復
		4部 グローバル化と私たち		・冷戦の緊張と緩和、第三勢力の台頭、日本の戦後復興 ・米ソの弱体化と周辺国の台頭
	3月	1章 冷戦で揺れる世界と日本		
	2章 多極化する世界			

学習の方法	[授業前] 忘れ物をしないことが一番であるが、忘れ物をした場合の挽回の姿勢を見せること。 [授業中] 学習内容を単語で暗記しようとせず、流れを理解し、構造化することで知識の定着を図ろうとすること。 [授業後] 知識を定着させるため、復習を重視する。復習の仕方は、一問一答形式ではなく、図や絵などを利用した自分なりのまとめノートを作ることが望ましい。
-------	--

備考	
----	--